

日本のさんま棒受網漁船に適合した漁獲物の洋上転載技術の開発

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja): サンマ; 棒受網漁船; 遠隔漁場; 洋上転載
	キーワード (En):
	作成者: 阿保, 純一, 平松, 猛, 谷口, 皆人, 高橋, 晃介, 越智, 洋介, 山下, 秀幸
URL	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010603

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



日本のさんま棒受網漁船に適合した漁獲物の洋上 転載技術の開発

阿保純一・平松 猛・谷口哲人・高橋晃介・越智洋介・
山下秀幸

日本漁船が公海のような遠隔漁場のサンマ資源を利用するには、運搬船を含めた船団操業の効率化が不可欠となる。そこで運搬船の導入に向け日本のサンマ漁船で実施可能な2つの洋上転載方法を考案し、転載効率や効率的な船団体制について検討した。調査は2010～2013年に実施した。結果としてフィッシュポンプによる転載方式が時間当たり転載量と作業負荷の両面で優れていた。また、この転載方法は操業船でも運搬の役割を兼業でき、運搬専用船を導入するよりも運搬を担える操業船で船団を組んだ方が帰港時の漁獲物積載量が多かった。よって遠方漁場での操業にはフィッシュポンプによる洋上転載と操業・運搬兼業船での船団操業が有用であると考えられる。